

※ 谷村製作所(東京) ※

船橋工場(千葉)に第一、第二工場など増設

物件の大型化対応、生産効率化を図る

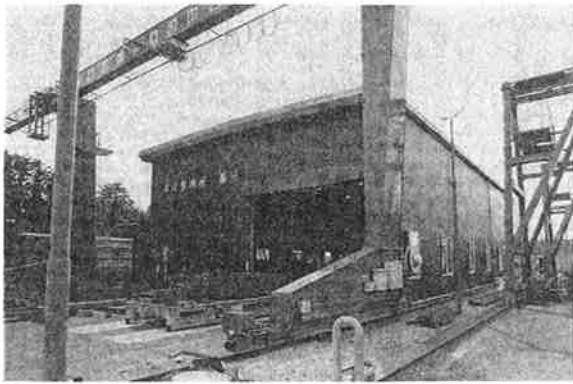


東京のHグレードファブ、谷村製作所(本社・東京都墨田区、谷村朋昭社長)はこのほど、千葉県の船橋工場に第一、第二工場、塗装ブース(移動式)を増設した。柱・梁製作専用工場として機能を拡大させ、物件の大型化にも対応、またクレーンの活用などで一次加工を含む全体の生産効率化を図ったことになる。

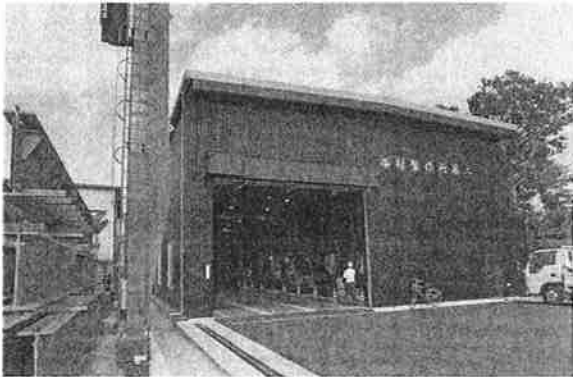
今回の増設は、既存工場場の隣接地に設置している一次加工ライン横の敷地約6000平方メートルを新たに取得、造成して昨秋までに建設した。一次加工ライン横に梁専用の第一工場(幅14メートル×横28メートル)、ヤードを挟んで柱専用の第二工場(同14×75メートル)を建設、さらに第二工場横には移動式の塗装ブースを設けた。既存工場のA・B工場として階段や手摺りなど付属金物を製作する。各工場を専用工場とするにより、それぞれの機能を拡大させる狙いがある。

機械設備としてはショットブラスト(ニッチュー)、柱大組立溶接ロボット2アーク(神戸製鋼所)と溶接用回転治具(同)などを導入したが、第一工場には天井クレーン2・8メートル2基、第二工場に2・8メートルが3基、5メートルが2基のほか、屋外も各ヤードに両翼・片翼跳ね出し門型クレーンを設けた。また各工場への製品の移動は新設重量台車(5ト)と各所クレーンを活用し、横持ち移動の効率化を図った。生産能力も今回の増設で月産250トから倍増の500トにアップさせた。

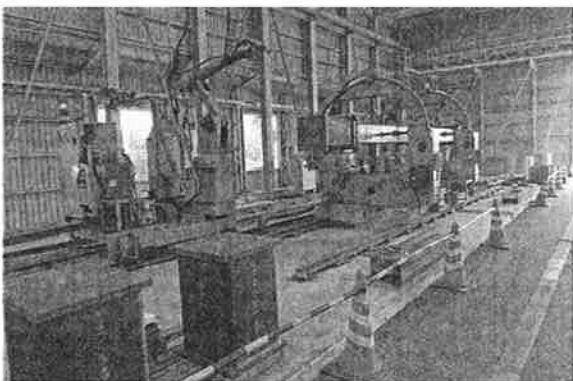
谷村社長は「隣接地の敷地1600平方メートルを今年に入ってから新たに取得、現在は駐車場として使用している。これからも設備投資は継続して実施していきたい」としている。



第一工場



第二工場



第二工場内観